

おかえり、みきちゃん！感動をありがとう！

2月23日（火）、日野町役場において、カナダ・バンクーバー冬季オリンピック・フリースタイルスキー女子モーグル競技に出場された伊藤みき選手の帰国報告会が行われました。役場玄関では、地域住民の方や職員など、約120名がみき選手を出迎えました。

みき選手は、日本代表のユニフォームを身にまとい、いつものキラキラとした笑顔で、オリンピックを振り返られました。

役場特別室では、伊藤三姉妹を応援する会の門坂剛会長をはじめとした応援者の皆さんとともに懇談の場がもたれました。

「モーグルを通して恩返しをしたい」というみき選手。スタートラインに立ったときは、日野町からの応援メッセージが書かれた横断幕にも気づいたそうで、「両親や周りの方たちのおかげで立たせてもらっているので、『あ



▲役場特別室で行われた懇談会では、オリンピック当日のことや、地元応援会での上り下りについて話されました

りがとう』と思いました」と感謝の気持ちでいっぱいになったとのこと。また、リフトに乗っているときには、日野祭囃子の旋律が頭の中を流れてきたそうです。「たぐさんの応援を力にして、決勝では、今の自分なりのいい滑りをするのができました。次の4年間の始まりの一步にしようと思います。次は姉妹で出場できれば最高です」と、次のオリンピックに向けて思いを語られました。

「日野町の皆さんの応援は、自分に自信をつけてくれました。皆さんの応援が原動力になっています。日野町に生まれてよかったです」と当日の地元応援会の様子を聞いて喜ばれていました。

みき選手が日野町にもたらした熱気と感動の渦。また、日野を大切に思っているからこそ言葉。みき選手の「恩返し」は、もうすでにみんなの心に届いています。

日野町立学校における給食施設整備検討委員会

報告書（提言）を提出されました



▲歯黒恵子会長代行（写真左）から、藤澤町長（写真中央）、森晃一教育委員会委員長（写真右）に手渡されました

3月1日（月）、役場特別室において、日野町立学校における給食施設整備検討委員会が報告書（提言）を提出されました。

委員会は15名の委員からなり、平成20年12月から平成22年2月までの間、日野町にふさわしい学校給食のあり方について検討されてきました。

町では、今回の提言を踏まえ、学校給食について検討していきます。